

令和2年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立 貴志小 学校

作成日

令和 3年 3月 12日

1 教育目標

自ら考え、正しく判断し、進んで実践する力を身につけた、人間性豊かな貴志の子供の育成をめざす

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・県到達度調査で、県平均正答率を上回る。 ・授業が分かる（児童80%） <p>授業が分かると学校に来ることも楽しくなる。重要な指標だと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しい（児童90%） ・図書の本を借りる。（児童100%） ・いじめの解消（児童100%） <p>学校が楽しいという児童の割合も来年度も80%以上をめざしてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に運動に取り組んだ。（教師90%） ・朝ご飯を食べた。（児童100%） <p>朝ご飯を食べるのと食べないのでは1日の始まり方が違うので100%を来年度もめざしてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子が伝わった。（保護者90%） <p>学校のことが保護者に伝わるのは重要な指標である。</p>
意見重点目標に対する	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本は重要である。児童主体の学習や、家庭学習を大切にしてほしい。 ・教える姿勢・行動・指導方等の工夫が、児童に通じ良い結果となっている。 ・「児童主体の授業づくり」はとても良い目標だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳・人権学習は今の時代だからこそ必要である。 ・読書活動は心の豊かさを育むもので、より推進してほしい。 ・いじめゼロになるように取組を深めてほしい。 ・学校・家庭共にどれだけ愛情をもって接するかが大事だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と学校が、心身共に健康である生活習慣を確立することが大切である。 ・体力向上を目指すことで免疫力向上につながると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と地域と学校が連携を充実させることは、子供たちの安心・安全な学校生活に重要なことである。
意見取組状況に対する	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT等の活用でどの子にもわかりやすい授業をめざしてほしい。 ・のびっこタイム・復習問題の作成等、毎日少しずつの取組は良いと感じた。 ・取り出し授業等で子どもたちをフォローする努力がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケート等を実施し、いじめの早期発見に努めることが出来ている。 ・いじめが起こる前の対策が重要である。引き続きアンケート等を実施し、早期発見を心掛けてほしい。 ・児童会の挨拶運動等、挨拶の大切さを教える取組は大切である。また、児童会が考えて活動していることは素晴らしい。 ・挨拶運動を通して、気軽に声を掛け合える雰囲気を作り、それがいじめの解消につながるとうい。 ・「うちどく」の活動は素晴らしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会主催の縄跳び週間やチャレンジランキングの活用等、コロナ禍ではあるが体力向上に工夫が見られる。 ・学校は体力向上に努力していると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方との交流をこれからも充実させてほしい。 ・学校だよりの発行やHPの作成等、工夫が見られる。 ・地域の方の献身的な見守り活動が充実している。
に取組する適切さの検証結果	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年は授業の理解の割合が高い。高学年になると「毎日の勉強がわかるか？」の問いに「まあそう思う」が、半分を超えている。「とてもそう思う」が増えるように取り組んでほしい。 ・算数の計算等は力がついてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校が楽しい」「友達と仲良くしている」の割合が高いのは良いと思う。 ・保護者アンケートでは、「いじめをなくす学校づくりに取り組んでいる」について肯定的な意見は60%なのでより取組を充実させる必要がある。 ・高学年から低学年へ等子ども同士でおすすめの本を紹介しあうのも楽しいのではないかな。 ・地道に丁寧に子どもたちと関わってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートからもわかるように、今年度規制が多い中、できる範囲で健やかな身体づくりに努めることが出来ていた。 ・積極的に運動に取り組まれているよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子が保護者に伝わっていることがアンケートからもわかるので、これからもわかりやすく伝えることを大切にほしい。 ただ、学校だよりの保護者に確実に届いているかは不安要素である。 ・今年度は地域の方や他校との交流は難しかったと思う。
改次善年度法にに向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用などを通し、わかりやすい授業づくりをめざしてほしい。 ・先生の熱心な指導で学力がついてきている。 ・学年が進むにつれて、理解度が低下する傾向について原因を考える必要性を感じる。 ・算数と共に国語力向上にも期待する。 ・引き続き、確かな学力向上の取組を続けてほしい。 ・個人の意見を言えるような雰囲気作りが大切である。子どもたちが普段から考える習慣をつけ、発表する機会を実践する積み重ねが大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ解消についての保護者の肯定的な回答が62%は気になる。児童のSNS等小さなことでも保護者と協力しいじめの芽を見つけてほしい。 ・いじめアンケートの徹底や指導の徹底を心掛け、保護者にも活動内容をより発信してほしい。 ・人を思い合う気持ちを、学校と保護者で協力し取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが楽しく体を動かす取組を行ってほしい。 ・早寝・早起き・朝ご飯について、家庭と学校が協力して推進してほしい。 ・来年も安全に注意して、できなかったことを、できるだけ行ってほしい。 ・集団登校はこれからの課題である。できれば、継続の方向でお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のことをどう保護者に伝えていくか課題である。 ・忙しい保護者も多いが、開かれた学校をめざしてほしい。 ・地域との連携を深めるため、いろいろな交流をしてほしい。 ・今年度はコロナ禍で様々な活動がなくなったが、来年度、できることから始めてほしい。

・コロナ禍の影響もあり、対応は難しいと思う。「地域とのかかわり」を広げ、学校に関心をもってもらうことが大切である。

・本年度はコロナの影響で特別な年になったが、来年度は安全に注意しながら、少しずつ例年通りになることを願っている。

・授業を参観していると、様々な工夫がされていて、子供たちもそれを受け止め学習に参加できていた。先生たちの前向きな取組が感じられる。

・学校・保護者・地域が連携して、何でも言い合えるオープンな雰囲気づくりをめざしてほしい。